

## 除湿資材による灰色かび病の発病抑制

### [研究のねらい]

園芸作物の施設栽培では、第一次石油ショック以降、エネルギーの節減のため多重被覆が定着し、特に水田転換畑では、好湿性病害である灰色かび病が恒常的に発生します。そこで、施設内の湿度を効率的に低下させるため、透湿性資材であるPVA不織布と排水トコ（ツユトール）の複合的効果を明らかにします。

### [研究の成果]

- ①ハウス天井部の内張りにPVA不織布を利用すると、ハウス内湿度の低下や植物体上へ落下する水滴量の減少により、ミニトマト等の灰色かび病の発生は抑制されます（図1）。
- ②PVA不織布内張り（タフベル）と排水用トコ（ツユトールなど）を併せて利用すると、不織布の透湿性・吸湿性とハウス天井部の結露水の排出効果により、ハウス内の除湿効果は高まり、一昼夜の除湿量は㎡当たり260mlにもおよびます（表1、図2）。

### [成果の活用面・留意点]

- ①灰色かび病は植物体のぬれにより発病が助長されるため、作物の上にハウス天井部からの水の落下がないか施設構造等を点検しましょう。
- ②外張りフィルムは流滴性に優れた、防霧タイプの資材を必ず用い、水分の排出効果を確認します。
- ③灌水過多にならないように注意し、全面マルチで土壌表面からの水分上昇を防ぎます。

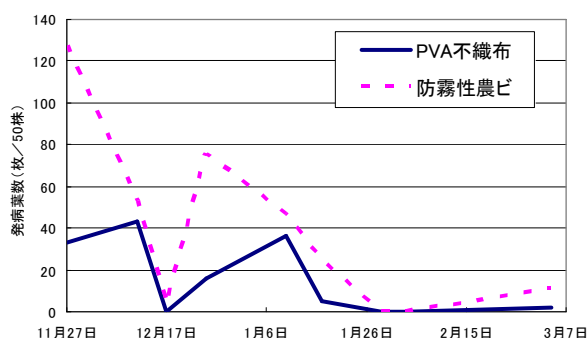


図1 PVA不織布内張りによるミニトマト灰色かび病の抑制

表1. PVA不織布の内張りによる除湿効果

内張り資材	除湿機作	除湿量 (ml/m <sup>2</sup> )
PVA	結露水の排出	240
	PVAの吸湿	20
農用ビニル	結露水の排出	180

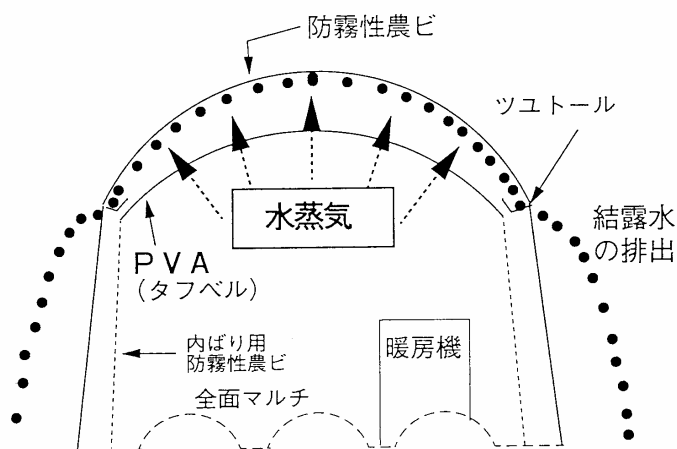


図2 PVA不織布（タフベル）内張り（タフベル）と排水トコ（ツユトール）による除湿の模式図

実施年度：平成2～4年

担当者：増田吉彦、前田和也、  
家村浩海